

# 北海道NPO情報



発行 北海道情報宣伝研究会  
 札幌市中央区北4条西12丁目E  
 1976年7月9日第3種郵便物認可  
 定価 100円



NPO推進北海道会議

北海道NPOサポートセンター

【4月号】

市民活動団体を支える社会的支援システムを強化しよう! 【2003年4月発行】

もくじ	ページ
地域新産業創造活動補助金のご案内・	
NPOバンク第3回融資申し込みについて	2
北海道ろうきん社会貢献助成制度のおしらせ	3
札幌チャレンジド・就労支援制度の設立について	4
NPOバンクサポーター便り 第6号	5~6
「公益法人改革—緊急札幌集会」の報告	7
北海道のNPO総合情報誌 [えぬびおん]	8
NPOな・・・書籍案内	9
NPOサポートセンターのサポート事業	10
情報BOX・助成金情報	11~12



## NPO全国フォーラム 北海道会議へ向けて(9月まで連載の予定) その1 9月13日(土) 14日(日) さっぽろで会いましょう!

「NPO全国フォーラム」は、過去「'97inかながわ」「'98関西会議」「'99東北会議」「'00中国・四国会議」「'01東海会議」と全国各地で行われてきました。NPO活動をしている全国の仲間が集まってタイムリーな話題、NPO活動と地域、NPOの人材、NPO組織論、行政とのコラボレーション等々について勉強し、議論、意見交換・交流など熱い2日間を過ごします。今年は1年ぶりにこの北の大地北海道・さっぽろで開催されます。

昨年11月から主催団体の一つでもある日本NPOセンター、道内各地のサポートセンター・その機能をもつ団体(旭川、函館、北見、釧路)、介護NPO連絡会とNPO推進北海道会議、北海道NPOサポートセンターの代表で準備会を結成しました。3月8日第1回実行委員会を開催し、田口晃さんが実行委員長に、佐藤隆さんが実行委員会事務局長に就任しました。内容については、<予告編>として『NPO情報』でも何度か紹介し、全道大会等でもチラシを配布しています。4月5日に第2回実行委員会を開催します。

実行委員会は、<予告編>を基に細部についての話し合いを重ねていきます。実行委員については、全体のバランスなどを考慮しながらお電話をお願いをしたり、『NPO情報』の記事を読んで応募して頂いたり道内各地で活動をしている方達が揃いました。9月まで全員、力と知恵を合わせ成功に向けて走り出すところです。実行委員で関ることが出来なかった方々もフォーラムの2日間は猫の手も、いろんな手が必要です。近くなるとこの『NPO情報』で当日スタッフの**ボランティアを募集**しますので是非ご協力下さい。

9月のフォーラムまで毎月連載の予定です。ご意見・アイデア等ありましたらお寄せ下さい。(連載担当:津田)

NPO全国フォーラム北海道会議実行委員は次の方達です。9月まで宜しくお願いいたします。

(2003,3月現在) =幹事 =事務局

浅野目祥子(手と手)・伊藤麻純(ezorock)・太田こずえ(飛んでけ!車いすの会)・太田昇(帯広28サロン)・小野美貴子(ねあす)・小田千春(学生)・北村美恵子(NPO推進北海道会議)・小林董信(北海道NPOサポートセンター)・佐藤由美子(コンカリーニョ)・佐藤隆(NPO推進北海道会議)・三膳時子(霧多布湿原トラスト)・島明美(北海道ワーカーズコレクティブ連絡協議会)・篠田理香(札幌チャレンジド)・清野光彦(北海道介護NPO連絡会)・惣井田敏行(旭川NPOサポートセンター)・田口晃(NPO推進北海道会議)・谷井貞夫(北見NPOサポートセンター)・竹田由希(札幌・障害者活動支援センターライフ)・田尻佳史(日本NPOセンター)・津田祥子(北海道NPOサポートセンター)・中山慶一(インフォメンター)・鳴海忍(NPO推進道南会議)・新田英理子(日本NPOセンター)・平賀貴幸(夢の樹 オホーツク)・日置真世(地域生活支援ネットワークサロン)・藤原哲朗(シニアマスターズネットワーク)・松本公洋(北海道NPOサポートセンター)・正村紀美子(子育てネットワークとかち)・升田俊三(函館アフリカ支援協会)・丸藤競(NPO推進道南会議)・森田裕子(旭川NPOサポートセンター)・山本幹彦(当別エコロジカルコミュニティ)・吉村八重子(北海道ワーカーズコレクティブ連絡協議会)・米地崇(ホームヘルパーノア)

オブザーバー参加・道立市民活動促進センター、札幌市市民活動促進担当課、北海道生活振興課

## 地域新産業創造活動補助金のご案内

北海道では、地域の特性や産業集積などを活用して行う地域の産業づくりに向けた新技術・新製品・新サービスの開発や起業化、情報化などの取り組みを支援します。

【募集事業】地域新産業創造活動補助事業 一般事業 特別対策事業

【募集期間】平成15年4月14日(月)～5月23日(金)

【申し込み・お問い合わせ先】

- ・支庁経済部商工労働観光(商工労働)課、小樽商工労働事務所商工課
- ・北海道経済部産業振興課新産業推進係(011-231-4111 内線26-218)

**事業内容を審査の上採択事業を決定し、予算(一般事業・特別対策事業併せて2,500万円)の範囲内で助成します。**

### 一般事業

地域における新規成長分野を中心とした新産業の創造にむけた事業で、研究・技術開発事業(新商品や新サービスを提供する事業の展開に当たって、必要な設備投資計画、原材料の調達調査、販売ルートの調査など具体的事業計画を立てるために必要な調査事業。事業展開に必要な研究・技術開発事業等)研究会・研修会等開催事業、展示会、商談会等開催事業などを対象としています。

補助率・補助額 対象経費の1/2以内 30万以上100万円以内

### 特別対策事業

構造改革等の影響が大きい中小企業者等や、新たな人材を受け入れることにより、ニュービジネスを展開する中小企業者等の新産業の創造にむけた事業で、地域における新産業の創造及び起業化、情報化等に係る調査検討事業、新製品・新サービス等に関する研究、技術開発事業等を対象としています。

**お申し込み用紙は上記問い合わせ先か、又は下記URLにアクセスしてください。**

<http://www.pref.hokkaido.jp/keizai/kz-ssnko/sanshin/sinsangyou/01.htm>

## NPOバンク第3回融資申し込みについて

4月14日(月)から5月16日(金)融資申込みの受付を致します。

関係書類を取りまとめのうえ、郵送(配達記録)若しくはNPOバンク事務局にご持参ください。

融資募集に関してご不明な点がございましたらお電話又は下記e-mailアドレスにてご連絡ください。

NPO法人北海道NPOバンク

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

TEL 011-204-6523

FAX 011-261-6524

URL [http://npo-hokkaido.org/bank\\_hp/](http://npo-hokkaido.org/bank_hp/)

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クガ`死`ル2F

北海道NPOサポートセンター内(担当:北村)

## コミュニティビジネス活動拠点機能に関する調査報告書が完成しました！！

市民活動の活発な地域では、民間の中間支援組織(インターメディアリー)や行政による創業支援、活動拠点の提供が実施され始めています。本調査は、北海道庁との協働事業として、北海道NPOサポートセンターがとりまとめました。

北海道におけるコミュニティビジネスの現状をアンケート等により把握するとともに、コミュニティビジネス先進地(神戸、大阪、横浜、宮城等)における、創業支援のあり方や創業支援のための活動拠点(インキュベーション機能)についてまとめ、紹介しています。

本調査に当たっては、コミュニティビジネスを实践、ご活躍されている皆様、また、佐藤郁夫委員長(札幌大学経営学部助教授)、検討委員の皆様、ひとかたならぬご協力を賜りました。厚く御礼申し上げます。報告書の内容に関しては、インターネット上で公開されています。是非ご覧下さい。

<http://www.pref.hokkaido.jp/skikaku/sk-kksis/kyodou/kyoten/index.htm>

また、報告書の必要な方はお問合せください。

(北海道NPOサポートセンター 担当:大坂)

## 北海道ろうきん社会貢献助成制度のおしらせ

咲かせましょう！未来の花

～地域福祉活動、市民活動の振興等に努めるNPO、ボランティア団体に助成金を支給～

アンケートによると、ろうきんを利用いただいている勤労者・市民の皆様多くは、「ボランティア活動・NPO活動を応援したい」という強い意欲を持っています。ろうきんでは、この思いを1つに受け止め、これからの社会づくりの新しい担い手として期待されているボランティア・NPO団体を応援していく制度「北海道ろうきん社会貢献助成制度」を実施しております。

**募集要綱（概要）** 4月18日（金）応募締め切り 6月中旬助成 1件上限30万円

1. 助成の対象 非営利市民活動を主たる目的としている団体（NPO法人格の取得の有無は問いません）
  - （1）地域の福祉活動・市民活動の振興等に努めるボランティア団体（任意団体を含む）  
複数年助成先団体を除き、過去に本助成制度より助成を受けていない団体。
2. 助成先の選定基準
  - （1）活動内容の評価基準  
事業活動内容が明確であり、且つ社会的価値・意義が認められていること。法令違反など反社会的行為が認められないこと。宗教的活動・政治的活動を行っていないこと。活動に先駆性があること。活動に独創性があること。活動に将来性があること。活動に継続性があること。活動に公開性があること。会計に透明性があること。
  - （2）活動分野の選定基準 活動分野は特に限定しませんが、各分野からは最低でも下記の団体数を選出する予定。  
福祉分野の団体（10団体） 環境保全分野の団体（2団体） 市民活動支援分野の団体（2団体）  
文化、芸術又はスポーツの振興分野の団体（2団体） 上記以外の分野（2団体）
3. 助成対象先の選定方法  
助成先の選定は、上記2の基準による書類審査をもとに、「北海道ろうきん社会貢献助成制度選定会議」において決定します。
4. 助成期間 原則として、単年度助成とします。
5. 助成金額（2003年度） 総額 700万円（単年度 一助成先あたり上限30万円とします）
6. 助成金の使途等  
助成金の使途については、特に制限を設けません。但し、申請時には資金使途を明確に記入のうえ、可能な限り確認資料を添付いただきます。
7. 助成金の成果の報告  
助成金交付先については、2004年6月末までに助成金の成果について報告書を提出いただきます。
8. スケジュール 2003年3月3日（月）応募開始 2003年4月18日（金）応募締め切り
9. 申請書類等 申し込み/問い合わせ 北海道労働金庫 社会貢献制度事務局  
TEL.011-271-2101（代） FAX.011-221-6846

### 特定非営利活動促進法に基づくNPO法人申請受理数・認証数（暫定数）

北海道（道庁）では、インターネットで情報提供しています。<http://www.with.pref.hokkaido.jp/npo/index02.html>  
 認証数の多い県 東京2147、大阪816、神奈川588、北海道388、千葉362、兵庫318、福岡315、  
 京都278、愛知267、静岡245、埼玉239、群馬197、三重166、長野166、宮城153、広島146

全国の申請受理数「北海道含む」 【2月28日現在】 (内閣府のホームページ)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	11621	10089	42	72
道内の申請受理数 【2月28日現在】(北海道)	434	388	0	1

## 札幌チャレンジド・就労支援制度の設立について

札幌チャレンジドは、3年前の発足以来、その設立の趣旨の一つに自立を目指すチャレンジド（障害をもつ人）の就労支援を掲げてきました。この間、多くのチャレンジドからITを活用した在宅就労を求める声を受け、徐々にではありますがその実例を積み重ねるとともに、ニーズに応えられる技術をもったチャレンジドの養成にも取り組んできました。

この度、チャレンジドの就労支援をより一層推し進めるために、「就労支援制度」を設立致します。ITの技術を活かし、ITを武器としてチャレンジドが社会参加できるような就労の場を作っていきたいと考えています。関係各位の方々のご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

### <登録を希望される方は>

1. スキル登録 チャレンジドがもつスキル情報を登録する登録システムを設けます。なお、当面、北海道在住者のみの登録とさせていただきます。作業所等の団体としての登録も可能です。札幌チャレンジドのホームページ上から登録をして下さい。
2. 就労メーリングリストの開設 スキル登録者は同時に就労メーリングリストに参加していただきます。仕事の発生の都度、その仕事の担当を希望するチャレンジドをメーリングリストにより募ります。希望者の中から適切なメンバーを札幌チャレンジドが選定します。
3. お客さまとの関係 お客さまからの仕事は、札幌チャレンジドが受注し、札幌チャレンジドのメンバーとして各チャレンジドにその仕事を分配します。各仕事は基本的にはグループワークとして進めます。仕事の全体管理は、札幌チャレンジドが責任をもって行います。

### <仕事の受注について>

企業・行政・団体の皆様におかれましては、上記の趣旨をご理解いただき、札幌チャレンジドへの仕事の発注をお願い申し上げます。

#### NPO 法人 札幌チャレンジド

TEL 011-261-0074  
 FAX 011-261-6524  
 E-mail [challenged@npohokkaido.jp](mailto:challenged@npohokkaido.jp)  
 URL <http://www.npohokkaido.jp/challenged/>



## 「NPOサポセン クワガタビルに移転満1年」

昨年4月14日に北海道NPOサポートセンターはビルオーナーの合田観光商事株式会社の社会貢献・NPO支援活動対象となり、文字通り「破格」な条件でクワガタビル2階(札幌南2西10)に移転しました。

合田観光の合田邦彦社長のおじさんがNPO法人「摩周の里」の理事長をされている縁があったのですが、おかげさまで2年目を迎えることができました。

昨年の移転のキッカケになった「炭労会館」(札幌北11西4)ですが、結局一年間延命しNPO推進北海道会議が居座っています。でも、今度こそ本当に売却されそうです。

### 「道庁から1年間職員が研修派遣」

4月1日から道職員の千葉泰嗣さんが、NPOサポセンに1年間の予定で研修派遣で赴任されました。まずは、作法・習慣の違うNPOになじんでいただき、「NPO全国フォーラム」「市民活動全道フォーラム」「NPOバンク事務」などを中心に幅広く実務を実践していただくことにしております。えうご期待！



# NPOバンク サポーター便り

2003年3月  
Vol. #6  
NPOバンク事務局

## 第2回融資 6件 1150万円を決定!!

### 札幌市も500万円出資を決定 融資原資総額3800万円を突破!

第2回の融資審査を終え、札幌5件、旭川1件の介護・福祉の分野で活動する団体に、運転資金や設備資金として合計1150万円の融資を決定しました。融資は3月下旬から4月上旬に行われる予定です。また、サポーター皆様の暖かいご支援により、市民自らが中心となった自主・自律の新しい取組「NPOバンク」への融資原資も、2月21日の札幌市議会において、500万円の出資が可決され、融資原資は今年度末までの目標額である4000万円に迫る3800万円を突破することが出来ました。新たな公共分野の担い手であるNPOに対する社会的な期待の高まりや行政からの業務委託の増加を背景に、今後益々、NPOからの資金ニーズが増加することが予測されることから、個人サポーターを含め自治体や企業などにも更に積極的に出資をお願いしたいと思っています。

## 北海道発「まちの元気」を応援するNPOバンク

NPOバンク事業組合 理事 加藤知美 (NPO法人 さっぽろ村コミュニティ工房理事)



NPOバンクが動き始めました！多くのサポーターの暖かい気持ちが集まり、金融専門家や行政スタッフの熱意の後押しをうけてバンクが誕生しました。2回目の融資が行われ、「まちの元気人」(=NPO)に栄養ドリンク(=運転資金)が与えられました。このプロジェクトが具体化してきたとき、私は全国でも例のないことが北海道で始まろうとしていることに何よりもワクワクしました。北海道には、NPOによる風力発電など全国に先駆けた市民活動の「かたち」がいくつかあります。私たちのNPOも、まちづくりのため

のコミュニティ放送局「さっぽろ村ラジオ」を札幌・東区でまもなくスタートさせるところですが、NPO法人が出資して設立するコミュニティ放送局は全国でもおそらく初めてです。全国初のNPO法人によるNPOへの金融システムであるNPOバンクは、北海道から発信して数年後には全国標準になっているかもしれません。

さて、NPOバンクの融資先である「まちの元気人」のエネルギー源は、「こんな街になったらいいな」とか「こんなサービスがあったらいいな」という「夢」です。思いを同じにする人々がゾロゾロと集まり夢を実現しようと活動します。鉢植えの植物に例えれば、人のネットワークは根にあたります。しっかりと幹を支えます。肥料を与えればたくさんの花が咲くでしょう。でも、水分を切らしてしまうと瞬間に葉がしおれてしまうように、資金をいつも切らさない努力が必要です。水分が潤れそうになったときに少しの水(=融資)があれば命をつなぎ、やがてきれいな花で周囲を楽しませます。まちの元気人たちの夢を応援するための水を一時的に貯めておくのがNPOバンク。たくさんの水があれば安心です。水が地球上で循環するように、お金も循環させましょう。NPOバンクは、「まちの元気人」の知恵と勇気を育み、北海道の元気を取り戻すための水がめです。

## 審査に向けて（その1）～提出していただく書類の種類

副審査委員長 畑山 紀（札幌学院大学商学部教授）

北海道NPOバンクの理事会には、NPOバンク事業組合への出資または寄付により、あるいはバンクへの寄付により、融資または運営のための資金を提供して下さったNPO、企業、個人の方々、そして北海道と納税者である道民の皆様に対するアカウンタビリティ（説明責任）があります。

「地域の課題解決や地域資源の活用などに積極的に取り組むNPOなどの市民活動団体を融資により支援する」というバンクの目的にそった融資を行ったかどうか、さらに事業組合とバンクの永続的な活動と出資金の返還を保障するためいかに堅実な融資を行ったか、ということについて、理事会は資金の提供者に対しきちっと説明することができなければならないのです。理事会がこのようなアカウンタビリティを果たすうえで必要な情報を収集し、理事会に提供するのが融資審査委員会の役割です。審査委員会には、かかる役割を踏まえて書面審査や面談などを行うことが期待されているといえます。バンクのパンフレット「融資ご利用の手続き」でお知らせしているように、融資の申込みにあたっては、次の書類を提出していただくことにしています。

- ・ 融資申込書（所定の用紙）
- ・ 決算書（3期分）
- ・ 事業計画書（書式自由、所定の用紙あり）
- ・ 収支返済計画書（書式自由）
- ・ 連帯保証契約確認書（原則2名必要）
- ・ 団体の納税証明書

### 【備考】

資金用途が企業または行政からの委託事業に係る運転資金であることを示す書類を用意できるときは、事業計画書を省略できます。また、連帯保証人も団体代表者1名で結構です。

これらの書類に加えて、融資を受けるのに相応しい団体であることをアピールするために役立つであろう書類を参考書類として任意に提出していただくことは、大いに歓迎されます。

・事業目的の社会性、・経営組織の整備の度合いと運営の適切性、・保有する人的・物的資源の事業内容・規模との関連での適切性、・事業計画や実施体制の明確性、・財務状況の健全性や資金繰り計画の妥当性、などのうち強調したい事項についての書類があれば、提出をお願いしたいということです。

参考書類としては、たとえば、事業紹介のパンフレット、定款または会則、役員名簿（略歴付き）事業報告書、事業計画書、予算書、月次残高試算表、補助金交付決定通知書、当該団体に関する新聞記事など、あまり手間ヒマ掛けずに用意できる手持ちの書類を想定しております。

追伸 「感動しました」 2回の融資審査を通じて、みごとに地域の福祉向上や活性化などに貢献しているにもかかわらず、資金面で非常に苦労しているNPOの経営責任者の献身的なご努力の生々しい実態にふれることができたからであります。

第1回NPOバンク融資先 NPO法人 札幌アシストセンター・マザー 理事長 小谷 晴子さん  
（札幌アシストセンター・マザーHP：<http://www8.ocn.ne.jp/~mother/>）

札幌アシストセンター・マザーは平成13年6月に高齢の方や障害のある方が必要なときに必要なサービスの提供を始めました。また昨年11月には、障害や疾患に関係なく能力のある方の雇用の場として待望の建物が完成し、デイサービス・訪問介護・バリアフリー賃貸住宅がオープンしました。現在はデイサービス平均10人/日、バリアフリー賃貸住宅11件/12件、訪問介護は賃貸住宅に入居している方を中心に行っています。

スタッフも利用されている方も始まったばかりで試行錯誤といった状態ですが、賑やかに当事者の目線で利用される方と共に必要なことを築き上げ、尊厳をもって安心して地域で暮らしていけるマザーを目指して頑張っています。



サポーター便り第7号は、年度明け年次計画情報等を掲載する予定です。（4月中旬予定）

サポーター便りに掲載を希望する手記・情報がありましたら、下記問い合わせ先までご連絡下さい。

～お知らせ・お願いコーナー～

NPOバンクに対する問い合わせ先・資料請求先

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F

北海道NPOサポートセンター内（担当：北村）

Tel 011-204-6523 Fax 011-261-6524

NPOバンクホームページ <http://npo-hokkaido.org/>

## 「公益法人改革－緊急札幌集会」の報告

3月3日午後6時40分～午後8時

「公益法人改革－緊急札幌集会」を開催いたしました。2月28日に急遽設定した企画にもかかわらず33名の方が参加されました。冒頭、緊急集会の趣旨を述べ、佐藤隆NPO推進北海道会議事務局長が配布資料を基に、状況の概要を説明しました。その後全員一言ずつ発言しました。最後に大滝和子司法書士を交え、若干の質疑をし、

その後、「今回の緊急集会是3月4日開催の政府税調WGに向けて北海道のNPOの意志を伝えることではないか」という意見で、全会一致でアピールを政府関係機関に届けることにしました。集会アピールは、3月2日に東京で開かれた集会の提言を支持し採択することしました。



### 道民チャレンジ21世紀ファンダー】

### 【資料室/リンク集/活動カレンダー】

<http://www.with.pref.hokkaido.jp/challenge/>

市民活動団体情報（欲しい支援の情報）/ 支援情報（さまざまな社会資源を提供する研究機関、企業、NPOが発信する情報）提供 / イベントカレンダー、電子掲示板（いまのところイベント情報などが多い）、電子会議室などを開設しています。イベントカレンダーには各種イベント情報がたくさん掲載されています。（4月の情報31件、5月情報11件）リンク集もNPO支援団体、情報提供団体、助成団体中心に充実を図っています。お立ち寄りください。掲示板 / 活動カレンダーを有効にお使いください。

問い合わせ npo@mb.infosnow.ne.jp 担当・畑

### NPO推進北海道会議・北海道NPOサポートセンターから2003年度会費納入のお願い

このニュースは会員のみなさまからの会費で作成し配送しています。4月から新年度になりましたので2003年度の会費の納入をお願いいたします。NPO推進北海道会議/NPOサポートセンターは、北海道内でのNPO活動の促進のため、役割分担して活動しております。主旨をご理解の上、引き続き会員として参加いただくようお願いいたします。

【NPO推進北海道会議】 1995年設立。NPOを広めるための広報活動、フォーラムやシンポジウムなどの開催、NPO市民講座の開催、行政との連携、政策提言活動、情報の提供活動を行っています。

会費 個人 一口 2,000円

団体 一口 5,000円

【北海道NPOサポートセンター】 推進会議の活動をさらに広げることを目指して、1998年3月に設立。推進会議の活動が主にNPOを広めるのに対し、サポートセンターでは市民活動団体からの相談や、法人格取得に関する具体的なアドバイス、NPO法人連絡会の開催、NPO法人の実務サポート等を行っています。

会費 個人 一口 3,000円

団体 一口 10,000円

推進会議、サポートセンター両方の会員になって頂いても結構です（大歓迎です。）

郵便局口座番号：02760-8-9885

また、サポートセンターを育てていくための支援をいただけるかたは「NPOサポートセンター育成委員」になってください。会費 一口 10,000円

会員にまだなられていないかたは、ぜひこの機会に会員になってください。会員の方は会費納入をお願いいたします。（郵便振込用紙を同封させていただきました。）（行き違いがありましたらご容赦下さい）

すでに2003年度の会費を納めていただいている方には、その旨を書いた紙を同封させていただいております。

北海道NPOサポートセンターが発行する  
**北海道のNPO総合情報誌[えぬぴおん]**

偶数月中旬発行

**次号・第4号の主な内容(予定)**

グラビア 子ども環境会議 DJクラブイベント 当別からフィリピンそして世界へ  
フロント対談 札幌学院大学  
現場百景 「私たちの働き方」 NPO会計/旧小熊邸倶楽部/NPOインフォメンターなど  
それゆけNPO! ~ただいま発信準備中~ おらがコンカリプロジェクト  
道内トピックス...

石狩支庁HPコンテスト

地球村

「持続可能な開発のための教育」ネットワーク・ミーティング

自由学校「遊」

特集... 子どもを守る取り組み 北海道子どもの虐待防止協会松本  
北海道子ども学会事務局長 中村孝博さん  
子どもの権利ネットワーク南北海道  
CAP1/2 チャイルドライン 1/2 など

NPOライフ

カルチャー

music/千葉かよこ

BOOK・映画・演劇・舞台など

NPO広報クリニック レポート吉田理映子さん

全国版NPO紹介...「みなとNPOハウス」

NPOニュースSP 変わるNPO法 公益法人法改革

道内サポセン情報

読者の声

イベントインデックス/読者の声

内容は予定も含まれておりますので変更する場合があります。

定価：800円(税込)

(年間郵送購読予約受付開始：氏名、送付先郵便番号・住所、連絡先電話番号明記の上

FAX:011-261-6524まで。6号分送料込み(税込み)5,760円)



えぬぴおん 創刊号



えぬぴおん 第2号



えぬぴおん 第3号

「えぬぴおん創刊号」2002年10月1日創刊！ AB版・72ページ 街頭インタビュー「NPOって、知っていますか？」 大通り公園で聞きました <トップ対談>北海道経済産業局・高橋はるみ局長 vs 北海学園大学助教授・樽見弘紀さん 「NPOが北海道を変える」<この人に聞きたい>「北海道から新しい波を起こすために」宮田昌和さん(元BizCafe 運営会議議長) NPO現場百景 / 札幌チャレンジド・シーズネット・北海道子育て支援ワーカーズなど 最前線：DPI 世界大会直前情報 特集/NPOが提案する「総合学習の時間」ほか。

「えぬぴおん第2号」2002年12月10日発行 グラビア 国際協力フェスタ/NPO・NGOスタッフトレーニング/DPI世界会議 <フロント対談> 田中康夫(長野県知事)VS 逢坂誠二(ニセコ町長) 特集「高齢者を元気にする地域コミュニティ」シーズネット岩見太市代表と札幌の佐藤郁夫先生の対談ほか。

「えぬぴおん第3号」2002年2月20日発行 グラビア 1・17災害救済ネットワークコンサート/札幌子ども会議/市民活動フォーラム <フロント対談> 香山リカ/逢坂誠二 <この人に会いたい!>東原太陽グループ社長! ほか。えぬぴおん ¥800(税込み)バックナンバーについてのお問い合わせは北海道NPOサポートセンターまで。

書籍案内

**ボランティアと農協**

発行/日本経済評論社/定価¥2,600+税  
古い非営利組織は、ボランティアでよみがえる。NPO論を踏まえ、介護保険対応の新事業を創るプロセスを写真。未活用のモノ、ヒト、とりわけ出番のなかった女性のパワーが、組織を変える。本書はわが国の農業協同組合(農協)高齢者福祉事業という新しい事業を非営利組織の中に位置づけ、捉えようとするものである。



ただし、新事業がこれまでの農協事業の延長線上に生まれたという位置づけではない。古い組織である農協の内部から今までの事業と質の異なる高齢者福祉事業が生まれる過程に注目したい。言い換えるならば、農協という揺籃(ゆりかご)から、NPOに通じるような新たな組織形態・事業方式を有する新分野が想像されるプロセスを分析し、その契機とエネルギーを明らかにするものである。

[問合せ]北星学園大学 TEL011-891-2731

E-mail naokotab@hokusei.ac.jp  
NPO法人越智基金の監事の田淵直子さん  
(北星学園大学助教授)の著書です。

コンサート

**『札幌はこび愛チャリティーコンサート2003』の開催**

来る4月13日(日) 毎年恒例となりました札幌交響楽団による『札幌はこび愛チャリティーコンサート2003』を開催いたします。

今年で4回目となるこのコンサートは、『北の大地をこころでつなぐ』をメインテーマに、文化と福祉の両面で少しでも地域社会に貢献するとともに、爽やかで活力ある企業の醸成を願い開催するものです。北海道で生まれ、そして北海道で育てていただいたお礼に、地域の皆様に感謝の気持ちを込めてこのコンサートをお届けいたします。どうぞこの機会に、北海道が誇るオーケストラ『札幌』の迫力あるすばらしい演奏をお楽しみください。チケットは、キタラチケットセンター、道新プレイガイド、札幌トラベルで2月15(土)より全席指定2,000円(税込)で販売しています。

日時4月13日(日)開演15:00  
会場 K I T A R A (札幌市中央区中島公園)  
問い合わせ 札幌通運コンサート事務局  
電話:011-251-4111

 **NPOな...**

**『さっぽろ会議室のほん』改訂版**

A5判(66ページ) 定価 400円(税込み)

市民活動団体等が会議や講演会などを実施するに当たってお助け本『さっぽろ会議室のほん』が改訂されました。札幌市内の貸し会議室の最新情報を掲載。利用時間、料金、休館日、交通機関、申込方法など、使いやすく編集されています。

また、旧『さっぽろ会議室のほん』(ホール、イベント会場、ホテル情報も掲載・500円)と改訂版併せてご購入の方には2冊組800円で販売しています。



[問合せ]  
北海道NPOサポートセンター  
TEL:011-204-6523  
E-mail  
npo@mb.infosnow.ne.jp

**「介護保険・福祉サービス  
事業所ガイドブック」**

A4判(406ページ) 定価2,000円(税込み)

本誌の内容は、サービス提供地域・時間、人員体制、利用料、系列サービスなど情報が満載です。

市内事業所1180箇所(一部市外含む)を掲載しており、介護保険事業所は在宅・施設サービス、対象外事業所は在宅系のホームヘルプ、理美容、配食、ミニデイ、移送、施設系の養護老人ホームなど各事業所を網羅。充実したガイドブックとなっています。



[問合せ]  
北海道NPOサポートセンター  
TEL:011-204-6523  
E-mail  
npo@mb.infosnow.ne.jp

# 北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」紹介 新年度改訂版

北海道NPOサポートセンター会員に対するサービス事業です。詳細については個別にご相談に応じますのでお気軽にお問い合わせ下さい。電話011-204-6523

## 北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」一覧 (単位:円)

サポートの内容	詳細	規格・単位	基本料金
NPO法人申請手続 法人申請は時間がかかります。(4ヶ月～6ヶ月)	相談・書類作成等アドバイス(初回相談無料)	基本料金	20,000
身分証明書作成	ラミネートを使った身分証明書を作成します	1枚	200
印刷(予約制)	簡易印刷機(リソグラフ)で印刷します	片面 B5 1000枚	2,500
黒インク印刷のみ (カラー印刷、製本等は良心的な印刷所を紹介)	紙代込みです。(100枚以上～) (厚紙や色紙は少し高くなります。ご相談下さい) A3まで印刷可(両面は片面の倍)	片面 A4 1000枚	2,500
		片面 B4 1000枚	3,000
		片面 A3 1000枚	3,500
名刺作成	パソコンで名刺を印刷します(100枚単位) 片面初版代:300円、両面初版代:500円が別途かかります	片面 カラー	1,400
		片面 白黒	1,000
		両面 カラー	2,200
		両面 白黒	1,800
横断幕・ポスター	パソコンで長尺紙(幅45cm)に印刷します	片面のみ	1,000～
シール	NPOのロゴマークシール 1シート	大5枚、小10枚 各	200
エプロン	ロゴマーク、事業所名を入れてエプロンを作ります	5枚以上 1枚	4,300
日常会計業務支援	パソコンで、伝票入力から決算書作成まで実施	基本料金(1仕訳)	60～
介護保険・支援費指定事業所 申請事務サポート	指定事業所になるための支庁・市役所提出書類作成、提出までのサポートを行います	介護保険 1事業所	10,000～
		支援費 1事業所	7,000～
介護保険料請求事務	伝送による介護保険請求をします	1事業所	2,500～

上記の表以外に、不動産売買・賃貸、税務申告、登記書類作成、損害保険、FP関係について、NPOサポート専門家会議メンバーによる相談を随時受け付けております。(サポータースタッフが聞きし専門家につなぎます)  
法人認証申請書類、登記書類、会計書類、税務申告、介護保険申請等は、必要に応じてNPOサポート専門家会議メンバーの司法書士、行政書士、税理士、弁護士などの専門家のアドバイスをいただいています。  
NPOサポート専門家会議は、弁護士、司法書士、社会保険労務士、行政書士、公認会計士、税理士、損害保険専門家、不動産専門家、建築士、社会福祉士、FPなどの専門家が参加しています。

### 北海道NPOサポートセンター/NPO推進会議/NPOバンク/NPO越智基金

札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階

電話番号 011-204-6523 FAX番号 011-261-6524

通常業務時間 10:00～18:00(土、日、祝日は休む時があります)

事務所には、「葬送を考える市民の会」と「札幌チャレンジド」の2団体が同居しています。

### NPO推進北海道会議(北海道NPOサポートセンター分室)

札幌市北区北11条西4丁目1-29 炭労会館1階(土、日、祝日休み)

通常業務時間 10:00～17:00

電話番号 011-756-0034 FAX番号 011-716-2899

「SY企画室」をはじめ、「SOHO-NPO共同事務所」の位置づけで運用しています。現在、NPOサポートセンター分室、NPOインフォメーター、A SEED JAPAN ezorockなどが同居しています。

### 「NPO相談センター」(北海道NPOサポートセンター分室)

札幌市中央区北5条西6丁目 札幌通運ビル3階(ボラナビ倶楽部内)

電話番号 011 242 4333 FAX番号 011 242

2043

NPO法人設立相談は事前に電話でお申し込みください。NPO書籍販売も行っています。

4日は日曜 祝日休み。(日～十曜開設) 通常業務時間 10:00～18:00

## 情報BOX

### 全国縦断 市民発！仕事おこしシンポジウム

「まちづくり・仕事おこし」を考える市民のつどい in 北海道

一所懸命働いても会社が倒産してしまったり、リストラで職場を奪われたり、新たな職場を見出すことも難しい、そうした状況がさらに強まりつつあるのが今の日本の社会状況です。人と地域に役立つ、働きがいのある仕事をし、それなりの報酬を得て、人生の展望を開きたい、多くの人が抱くこうした願いは果たして不可能なのでしょうか？ また、明日を担う若者たちも、まともな人間の関係や職場に恵まれず、働くことに魅力を感じられなくなっており、このことは、人間社会の内面からの危機を意味していると思われませんが、これを回避することは無理なのではないでしょうか？

今、日本の各地で、働く人々・市民が主体となって、自ら出資し、経営して、地域に役立つ仕事をおこしていく「協同労働」による「仕事おこし」が新たな注目を集めています。高齢社会に入り、とりわけ、福祉・健康・環境・まちづくり・教育・文化など、これまで以上に人の労働が求められるようになってきています。その点では、働く人々・市民が「生活と地域」の視点から仕事をおこす時代が来ているといえます。

このような時代認識に立ち、「仕事おこし」「まちづくり」を考える市民の集いを提起しました。現実に各地で実践されている経験例を持ち寄りながら、さまざまな人々が共生し、労働と生活、仕事と仕事とが結び合い、循環しながら地域社会を発展させていく、新しい「産業」の姿をみんなで描き出してみたい。そして、それを促進する「協同労働の協同組合」法について、理解を深めていただくことを願ってシンポジウムを開催いたします。皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

日時 2003年4月19日(土)  
午後1時～5時  
会場 北海道大学学術交流会館1F小講堂  
札幌市北区北8条西5丁目(北大構内)

#### プログラム

13:00 司会 北星学園大 助教授 田淵直子氏  
開会・実行委員会代表 挨拶  
NPO推進北海道会議 代表理事田口晃氏  
来賓挨拶  
北海道総合企画部政策室構造改革推進課  
課長補佐 柴田達夫氏

13:20 基調講演  
「協同労働の仕事おこしに期待すること」  
堀内光子氏(ILO駐日代表) 神奈川県生まれ。東京教育大卒業。1966年労働省入省。84～88年国連職員。日本政府国連代表部公使、ILO事務局長補などを歴任し、ILO駐日代表に就任

14:20 休憩(10分)  
14:30 リレートーク(各10分)  
北海道労働者協同組合ケアワーカーズコープいちい  
北海道高齢協道南センター  
労働者協同組合道南ネット  
北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会

15:30 ゴスペル Heavenly Wind  
ワーカーズコープ札幌  
函館市民組織活力ユニット  
農村女性ワーカーズ(くりさわ手造りみそグループ)  
NPOこどもコムステーションいしかり

16:30 特別発言(まとめ)  
日本労働者協同組合連合会 理事長 菅野正純氏  
NPO推進北海道会議 代表理事 田口晃氏

16:55 閉会挨拶 実行委員会

参加費(資料代)500円

【主催】

「まちづくり・仕事おこし」を考える市民のつどい  
in北海道実行委員会

《主催構成団体》

ワーカーズコープ札幌、NPO推進北海道会議、北海道  
高齢協、北海道NPOサポートセンター、北海道ワーカーズ・  
コレクティブ連絡協議会、北海道労働者協同組合、労働者  
協同組合道南ネット、NPO推進道南会議協同総合研究所  
《連絡先》

ワーカーズコープ札幌 011(669)8182  
NPO推進北海道会議(北海道NPOサポートセンター)  
011(204)6523  
北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会  
011(846)8463  
北海道労働者協同組合  
0166(59)5280

.....  
さっぽろ自由学校「遊」主催各種講座・講演会

### 子どもの権利学習会

私たち「子どもの権利学習会」は、遊の講座として学習した事を更に学び続けようとする有志によって'98年1月より活動を始ました。昨年度は北大法学部教授の中川明さん(弁護士)の転出に伴い組織替えを行い、代表に札幌国際大学教授萩本和之さんを迎え、『学校に市民社会の風を』(中川明著)の輪読を中心に学習してきました。2月には拡大学習会として『心のノート』を中心に据えて、福岡の愛国心通信簿等々をフリージャーナリストの田中伸尚さんの講演と共に学習しました。今年度も「子どもの権利」について大いに学び、その伸長と拡充の為に皆さんと共に努力したいと思います。どうぞご参加ください。

<日程(予定)> 4月20日(日) 13:30～17:00  
5月10日(土) 16:00～18:00  
6月21日(土) 10:00～13:00  
7月12日(土) 10:00～13:00

### 辛 淑玉さん 講演会

#### 朝鮮半島の未来と私たち

～今、日本の市民に問われていること～

●日時 5月2日(金) 18:00開場・18:30開演  
●会場 かでる2・7大会議室  
(札幌市中央区北2西7)

●参加費 前売800円/当日1,000円

●講師 辛 淑玉(しん すぎ)

東京生まれの在日コリアン3世。1985年人材育成会社(株)香料舎設立。女性人材育成への本格的取り組みを経た後、「辛淑玉人材育成技術研究所(SPS)」を開講。現在、企業・自治体・教育機関・各種団体から依頼を受け、「人材育成・女性・人権」に関わる研修・講演を全国各地で行っている。『愛と憎しみの韓国語』(文春新書)、『ジェンダー・フリーは止まらない!—フェミバッシングを超えて』(上野千鶴子さんとの共著、ウィメンズブックストア松香堂書店)など著書多数。

### 朝鮮半島の未来と私たち

●日時 5月2日(金)開講・全6回  
隔週金曜 18:30～20:30  
●場所 さっぽろ自由学校「遊」ほか  
●受講料 一般6,000円 会員・学生4,800円  
●講師 辛淑玉、韓恵仁、李景民、林炳澤ほか

**話す・出会う・英語 ~ 英語でディスカッション ~**

- 日時 5月8日(木)開講 全18回  
毎週木曜 18:30~20:30
- 場所 さっぽろ自由学校「遊」
- 受講料 30,000円・学生24,000円
- 講師 ドロシー・マルンベ(ザンビア出身)

**飛んでけ!英会話~入門~**

- 日時 5月8日(木)開講 全18回  
毎週木曜 18:30~20:30
- 場所 さっぽろ自由学校「遊」
- 受講料 30,000円・学生24,000円
- 講師 吉田三千代(「飛んでけ!車いす」の会)

**心のケアを再考する PART 2**

- 日時 5月9日(金)開講・全6回  
隔週金曜 18:30~20:30
- 場所 さっぽろ自由学校「遊」
- 受講料 一般6,000円 会員・学生4,800円
- 講師 井上芳保、舩田和磨、花崎皋平、山之内靖、堀琴美ほか

**「お・は」読書会**

- 日時 5月10日(土)開講 全11回  
月1土曜 13:30~15:30
- 場所 さっぽろ自由学校「遊」
- 受講料 1回 一般600円・会員500円  
(中高生無料)
- 講師 『おそい・はやい・ひくい・たかい』  
(ジャパンマシニスト社)

**市民がつくりだす「平和」****~戦争・暴力を克服する21世紀へ~**

- 日時 5月13日(火)開講・全7回  
隔週火曜 18:30~20:30
- 場所 さっぽろ自由学校「遊」
- 受講料 一般7,000円 会員・学生5,600円
- 講師 君島東彦、松元保昭、越田清和、白山晴雄  
長塚真琴、平井敦子ほか

【問合せ先】さっぽろ自由学校「遊」

TEL 011-252-6752

FAX 011-252-6751

**助成金情報****平成15年度「川に学ぶ」活動助成 募集**

(1)助成金額:1活動あたり10万円を限度とします(1活動/1団体)(2)助成対象費目:活動に必要となる器具・材料の購入費(賃料を含む)人件費(謝金等)等(3)助成件数:30件程度(平成14年度助成実績39件)

&lt;問合せ・申込み先&gt;

**財団法人リバーフロント整備センター**

TEL: 03-3265-7121, FAX: 03-3265-7456

URL: <http://www.rfc.or.jp/>

(問合せは、直接または電話で)

**NPO法人設立への資金助成****~ 損保ジャパン 記念財団・環境財団 ~**

社会福祉・環境分野において多くのNPO法人が誕生することによって、より先駆的な活動が活発化し、ひいては

地球環境保全に大きく貢献するため、NPO法人化を支援する助成を開始します。

[活動内容]

- (1)障害者・高齢者の主として在宅福祉に関する活動
- (2)環境保全に関する活動

[助成金額]

- (1)1団体に30万円(助成総額は3,000万円)
- (2)1団体に30万円(助成総額は450万円)

[助成金の使途]特にその使途は問いません。(後日、助成金の支出明細等提出)

[申込方法]

- (1)助成申請書を当財団事務局にファックスで請求し、4月1日(火)~4月30日(水)までの間に、郵送で記念財団に提出。(当日の消印有効)
- (2)助成申請書を当財団のホームページからダウンロードし、平成15年4月1日(火)~4月30日(水)までの間に郵送で環境財団に提出。(当日の消印有効)

[助成時期] 7月上旬。

&lt;主催・問合せ&gt;

&lt;主催・問合せ&gt;

- (1)財団法人損保ジャパン記念財団

TEL: 03-5919-0711

FAX: 03-5919-0710

<http://www.sompo-japan.co.jp/foundation>

- (2)財団法人損保ジャパン環境財団

TEL: 03-3349-4614

FAX: 03-3349-3304

<http://www.sjef.org>**財団法人ヨネックススポーツ振興財団**

[交付の対象団体] 青少年スポーツの振興に関する事業を積極的に行い、奨励しまたは自ら行い、かつ3年以上継続して活動している、次の要件を満たした団体とします。

[助成金の交付金額] 年度内に予定する一つの事業予算の2分の1で概ね100万円以内とします。

&lt;問合せ・資料請求&gt;

財団法人ヨネックススポーツ振興財団事務局

TEL 03-3839-7195 FAX 03-3839-7196

URL <http://www.yonex.co.jp/zaidan.html>**ほか 助成金の情報は「シーズ・NPOWEB」**<http://www.npoweb.gr.jp/>

NPO法人 NPO推進北海道会議

代表理事 田口晃(北海道大学教授)

上田文雄(弁護士)

杉岡直人(北星学園大学教授)

杉山さかえ(北海道グリーンファンド理事長)

横山純一(北海学園大学教授)

事務局長 佐藤隆

〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目1-29

TEL (011)756-0034 FAX(011)716-2899

URL <http://npo-hokkaido.org>-----  
NPO法人 北海道NPOサポートセンター

理事長 上田文雄(弁護士) 事務局長 小林董信

〒060-0052 札幌市中央区南2条西10丁目カゲビル2F

TEL (011)204-6523 FAX(011)261-6524

E-mail [npo@mb.infosnow.ne.jp](mailto:npo@mb.infosnow.ne.jp)

